

2012年11月14日

報道関係各位

11月14日は世界糖尿病デー

ブルーライトアップイベント 日本全国119ヶ所で実施

世界糖尿病デー実行委員会（社団法人日本糖尿病学会・社団法人日本糖尿病協会）は、日本糖尿病対策推進会議と連携して、世界糖尿病デーの11月14日に国内の著名な建造物をブルーにライトアップする糖尿病啓発イベントを実施します。

2006年12月、国連総会において「糖尿病に関する決議」が採択され、同時に、糖尿病治療に必要なインスリンを発見したバンティング博士（カナダ）の誕生日である11月14日が「世界糖尿病デー」として公式に認定されました。

「Unite for Diabetes～糖尿病に対して団結しよう」をスローガンに、国連決議採択に向けてイニシアチブをとったIDF（国際糖尿病連合）は、世界糖尿病デーを周知するため、全世界の著名なモニュメントをシンボルカラーであるブルーにライトアップする活動を2007年から展開しています。

6年目となる今年は、過去最高の全国119ヶ所の有名建造物でブルーライトアップを行ないます。特に、11月24-27日に京都国際会議場で開催される「第9回国際糖尿病連合西太平洋地区会議／第4回アジア糖尿病学会学術集会」の舞台となる京都市は、清水寺、京都タワー、京都府庁旧本館、京都市役所などの建造物をブルーライトアップし、今年の世界糖尿病デーのシンボルとなります。

また、ライトアップイベントだけでなく、各地で無料の血糖測定や健康相談、ウォーキングや講演会なども同時開催して、糖尿病患者さんや予備群、一般市民に向けて糖尿病の正しい知識を提供します。

■ 関連ウェブサイト

IDF	http://www.idf.org/
Diabetes Atlas	http://www.diabetesatlas.org
世界糖尿病デー実行委員会	http://www.wddj.or.jp/
日本糖尿病学会	http://www.ids.or.jp/
日本糖尿病協会	http://www.nittokyo.or.jp/
日本糖尿病対策推進会議	http://www.med.or.jp/tounyoubyou/index.html
日本歯科医師会	http://www.ida.or.jp/

■世界糖尿病データ関連データ

世界の数字

*世界のブルーライトアップ件数 / 約 1,000

*2012年 世界の糖尿病患者数 / 3億6,600万人 → 2030年には5億5,000万人

*糖尿病を原因とする死亡者数 / 460万人/年 →7秒に1人が糖尿病により死亡

*糖尿病による下肢切断 / 100万人/年

*診断を受けていない患者数 / 全世界の患者の50%

*低・中所得国の患者数 / 全世界の患者の80%

(出展：IDF Diabetes Atlas 5th Edition)

日本の数字

*糖尿病を強く疑われる人 / 約 890万人

男性 40歳代 8.0%、50歳代 15.6%、60歳代 22.1%

女性 40歳代 3.6%、50歳代 5.6%、60歳代 13.5%

→「60歳代男性の5人に1以上が糖尿病」

*糖尿病の可能性が否定できない人（予備群） / 約 1,320万人

*糖尿病を強く疑われる人の治療状況 /

「現在治療を受けている」・男性 40歳代 8%、50歳代 15.6%、60歳代 12%

女性 40歳代 3.6%、50歳代 5.6%、60歳代 13.5%

「糖尿病の治療を受けていない」・男性 30～40歳代 59.4%、50～60歳代 34.0%、71歳代 34.2%

女性 30～40歳代 58.4%、50～60歳代 40.2%、70歳代 21.7%

「これまで治療を受けたことがない」男性 42.0% 女性 54.2%

(出展：2010年国民健康・栄養調査)

*糖尿病の医療費 / 1兆1,165億円

(出展：2009年度国民医療費の概況)

※医療費全体は36兆67億円